

たけのうち便り Vol.14



いつもお買い上げいただきありがとうございます。お米のほか季節や地域の情報をお届けいたします

24年産の米づくり始まっています～苗作り・田植え～



鴨川長狭地区では、春の農作業が真盛りです。写真（左：4月12日撮影）は竹ノ内米店にお米を出荷して下さっている原稔さんのビニールハウスの様子。3月17日に蒔いた種がハウスの中で立派な苗に成長しました。今年は気温の変化が激しく、ビニールハウスの中の温度管理が大変だったようです。ハウスの温度が高くなりすぎると苗が焼けて、使えなくなってしまうたり、水が足りないと枯れてしまったり、又苗が成長しすぎると田植え作業がしづらくなるため良くありません。田植えが始まるまで、丈夫で良い苗を育てるためにとても気を使います。一方田んぼでは、田植えに向け代かき作業が多



代かき（写真左）は田植えの直前に田んぼの土と水をこねて柔らかくし、凹凸をなくすため行われます。土の状態にもよりますが、代かき後3～5日で田植えとなります。準備が整えばよいよ田植えです♪お米は品種により「早生（わせ）」「中生（なかくて）」「晩生（おくて）」に分類されます。鴨

ではふさおとめ・ひめのもちが早生、お米こがね・ひとめぼれ・あきたこまちが中生、コシヒカリは晩生、となります。品種により成長過程が違うため、早生から順に田植えをしていきます。4月19日原稔さんもふさおとめの田植えを開始しました。（写真右）ハウスで成長した苗を田植え機に移し機械で植えていきます。機械で自動的に植えますが、苗づくりの段階で苗が密集しすぎると、植える本数が多くなり今後の成長に悪く影響してしまうそうです。丈夫な苗を作れば病気にかかりにくく、その分農薬の使用を控えることができるので、種まきの時から適度な間隔で苗が成長するよう工夫して



いるそうです。もみじといえば「秋」ですが、春の新緑がまぶしいこの時期も、幾つもの緑が重なり合いとてもきれいです。もみじの花も咲いています。（4.25撮影：山中也みじロード）

春のもみじ



もみじの花（左）

千葉県では23年産米の放射性物質検査を行いすべてのお米の安全性が確認されました。当店で扱っている商品は安全なお米です。どうぞ安心しておいしいお米をお召し上がり下さい。

安全なお米です



山菜

山の幸が盛りだくさん！
竹ノ内米店周りで採れました



ぜんまい



たら芽



うど



わらび

お米の注文はこちらまで：竹ノ内米店 フリーダイヤル：0120-07-0334

インターネット販売 <http://www.takenouchikometen.com> ホームページもご覧ください。